

森林環境譲与税の使途

(歳入)
森林環境譲与税

13,446 千円

(歳出)
木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等に要する経費（森林環境譲与税充当分）

13,446 千円

【森林環境譲与税の使途】

(単位：千円)

事業区分	事業名	経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち 森林環境譲与税
			国県 支出金	市債	その他		
木材利用の促進	道路維持管理事業	5,033	0	0	0	5,033	3,923
	公園整備事業	4,221	0	0	0	4,221	3,290
	小学校管理運営事業	1,707	0	0	0	1,707	1,330
	中学校管理運営事業	3,023	0	0	0	3,023	2,356
普及啓発	屋敷林等保全事業	885	0	0	0	885	690
	「浮野の里」自然環境保全事業	2,383	0	0	0	2,383	1,857
合 計		17,252	0	0	0	17,252	13,446

埼玉県 加須市（公共施設等への木材利用）

- 加須市では、森林整備等への理解促進につながる取組として、木材利用や普及啓発等を促進することを基本とし、これまで経費がかさむことで予算化が困難だった公園の木道やウッドデッキ、市有施設の木造化・木質化等の経費に森林環境譲与税を活用することとしている。
- 令和6年度においては、川口北公園及び向古河コミュニティ広場に木製遊具を設置した。

□ 事業内容

公共施設等への木材利用（公園整備事業）

- ・ 川口北公園及び向古河コミュニティ広場に木製遊具（アミダの山）を設置した。

【事業費】 3,847千円（うち譲与税2,998千円）

【実績】 木製遊具（アミダの山） 2台
木材使用量 18.93154m³



□ 取組の背景

- ・ 多くの児童が利用する公園に、新たな木材遊具（アミダの山）を設置し、日常の中で木に触れる機会を増やした。

□ 工夫・留意した点

- ・ 耐久性が高く安全性の高い木製遊具を選定し、木材の利用促進・普及啓発に努めた。

□ 取組の効果

- ・ 新たな遊具を導入することにより、児童が楽しんで遊べる。



◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：13,446千円		②私有林人工林面積（※1）：－	
③林野率（※1）：0.1%	④人口（※2）：111,623人	⑤林業就業者数（※2）：5人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より